

地域別ご父母・保護者の会 シブコン全国で開催!

育友会最大のイベント支部懇談会（シブコン）は、台風10号の影響で和歌山支部で中止となったものの、それ以外の66支部61会場で開催され、同伴者を含む1,529人の育友会員が参加されました。各会場では、教職員による学業、学生生活、就職についての講演、個人面談・グループ面談のほか、支部独自のプログラムも実施されました。

講演動画配信

大学からのお知らせの講演動画を配信します。支部懇談会に参加できなかった方は、ぜひこちらをご視聴ください。



神奈川東・西支部

7月28日(日)
生田キャンパス

→左から奈良神奈川西支部長、
田中経済学部長、溝田育友会長



↑学業について講演する高橋裕商学部教授



↑受付をする支部役員



↑司会を務めた学生



↑就活に関するパネルディスカッション

学生も協力した充実のプログラム

最大規模の会員数となる神奈川東・西支部の支部懇談会。会場の生田10号館の大教室に集まった225名の参加者を前に、奈良清幸神奈川西支部長、大学を代表して田中隆之経済学部長、育友会を代表して溝田勝彦育友会長が挨拶を述べ、会はスタート。まず学業、学生生活、就職について担当教員が講演を行いました。

司会を濱辺百華さん（国コ3）が務めたほか、就

職活動についてのパネルディスカッションに4年生が参加するなど、学生の協力を得ての開催。そのほか、エクステンションセンター事務課職員による公務員試験に関する講演、塩村恭朗神奈川東支部長による支部活動の紹介といったプログラムも実施されました。

昼食会の後には個人面談のほか、就職、公務員・資格、留学、学業全般の4つのテーマに分かれたグループ面談を実施しました。

参加者の声

大学の雰囲気や学生生活の様子がわかってよかったです。就職に関しては、学生が早めに動いていることや、私の時代にはほとんどなかったインターンについても知ることができました。娘は公務員試験を目指して勉強しています。今日知った情報を参考にしつつ、あまりうるさく言わない程度にサポートしたいです。



法学部2年女子の母、父
田中恵理さん、伴典さん



↑ 歓談しながらの昼食



↑ DVD 上映



↑ 個人面談



↑ グループ面談

シブコン
レポート

山梨支部

8月4日(日)
ベルクラシック甲府



育友会副会長
井上佳明



↑ 山梨支部役員と出張教職員



↑ 会場の様子



↑ 受付



↑ 個人面談

山梨支部は素晴らしいチームワーク

山梨支部の支部懇談会に参加させていただきました。会場は甲府駅から徒歩3分ほどの、とても便利な場所にある素敵な結婚式場の一室でした。

午前中は、上杉幸信支部長のご挨拶や、校友会からご参加いただいた宮坂様のお話、大学教職員の方々による「学業について」「学生生活について」「就職について」などの説明が行われました。また、山梨県多様性社会・人材活躍推進局から高鳥様をお迎えし、「山梨県の雇用情勢・就職支援について」と題した講演が行われ、山梨支部の方々が非常に熱心に聴講されていまし

た。午後は昼食と個人面談が行われ、皆さんの会話が弾み、とても雰囲気の良い支部懇談会となりました。

フルーツ王国である山梨は多くの果物が生産されて、特に葡萄や桃は日本一の生産量を誇っています。支部懇談会では、支部の方々から生産地ならではの桃の食べ方や加工方法についてお聞きしたり、人気の葡萄シャインマスカットの美味しい房の見極めはプロでも難しいという興味深いお話を伺うことができました。パリオリンピック期間中に開催された山梨支部の懇談会は、素晴らしいチームワークで盛り上がりました。

茨城(水戸)支部

9月8日(日)
水戸三の丸ホテル

→JR水戸駅前の水戸黄門像。その奥に見える水戸三の丸ホテル



↑開会の挨拶を述べる長谷川真一支部長



↑受付

離れて暮らす子供の不安を解消

「専修大学は4人の創立者が意見を交わして、方向を決めて作った大学。自由に意見を交わす校風は現在にも通じる。それを感じ取ってほしい」。水戸三の丸ホテルにて9月8日(日)、金子洋之副学長は40名の参加者に、挨拶を述べました。それに続き、間中真紀育友会前監査役が、大学のサポーターとしての育友会の活動を紹介しました。

その後、学業、学生生活、就職について教職員が講演。阿部貴人国際コミュニケーション学部准教授は学生生活についての講演で、学生相談室やキャンパス・ハラスメント対策室などの学生を守るための大学の取り組みや学食や食料支援、奨学金制度といった学生支援策などを紹介しました。そのほかのプログラムとして、佐々木重人学長、松木健一理事長のメッセージ、就職活動体験談をDVD上映しました。

教職員も交えての昼食では、離れて暮らす子供の心配事なども話題に上りました。その後、個人面談、グループ面談が行われました。



↑大学を代表して挨拶を述べる金子副学長



↑育友会を紹介する間中育友会前監査役

参加者の声

東京に息子を送り出して、親としてもわからないことが多かったです。息子も心細さがあるようなので、いろいろな情報を伝えてサポートしたいと思い、参加しました。大学や就職の話聞いて充実した時間を過ごせました。学生相談室の存在も知り、安心しました。



法学部1年男子の母
宇野有希子さん



↑DVD上映

支部役員の声

支部懇談会を無事に終え
ホッとしています。一人暮らし
を始めた子供を後方から支
援したいという気持ちで、支
部役員をやってきましたが、
その思いは子供にも伝わり、
学業に励んでくれたように思
います。また育友会の活動を通
じて、親同士の交流を持て
たのもよかったです。



長谷川真一茨城(水戸)支部長



↑教職員を囲んでの昼食

→個人面談

シブコン
レポート

長野(長野)支部
長野(松本)支部

8月31日(土)
ホテル国際 21

9月1日(日)
ホテルブエナビスタ



育友会副会長
佐藤信子



↑長野(長野)支部の役員と出張教職員



↑長野(長野)支部会場の展示の前に、
齋藤先生(左)と根岸先生

↓長野(松本)支部の役員と出張教職員



シブコンは
父母・保護者の安心の場

台風10号が列島各地に被害を出していた8月最後の週末。長野(長野)と長野(松本)の支部懇談会が開催されました。

「この1週間、毎日天気予報にくぎ付け。開催できるかどうか心配でたまらなかった」と、長野(長野)の須山聖子支部長も長野(松本)の中村尚子支部長も笑顔で話してくれましたが、とても不安な毎日だったことと思います。

両会場へは教職員6名、育友会本部役員2名で伺いました。それぞれ30名以上の方が足を運んでくださり、コロナ禍を経て徐々に賑やかさを取り戻してきている感じがします。

長野(長野)支部ではご夫婦で支部役員をされている方が多く、受付担当のお父さん方が優しい笑顔で迎えてくれました。長野(松本)支部は昨年できあがった

新しいチーム。手探りの作業も多々ありながら見事なチームワークで皆さんを迎えました。

両日とも大学代表挨拶を担当された国際コミュニケーション学部長の根岸徹郎先生が、文学部の齋藤実先生からの「笑いを取りましょう!」の無茶ぶりに果敢に対応くださり、会はとても和やかな雰囲気が進みました。

個別面談では皆さん聞きたいことが盛沢山。成績や授業の取り方など気になることや心配なことを相談されて、面談後はとても晴々とした表情でした。

初めて会う方ばかりですが、子供のこと、大学のこと、共通の話題が絶えません。支部懇談会は「父母・保護者の方の安心の場」になっていると感じた2日間でした。